

トークセッション

閉ざされた心が開くとき

～少年たちへのアプローチから見えること～

2018.3.20 TUE 開場 18:30 開演 19:00

府中市市民活動センター プラッツ バルトホール

社会の網の目からこぼれ落ちた少年たちのために、市民一人一人は何ができるのか…
多くの実践経験を持つお二人の熱いトークから探ります。



湯浅 誠

社会活動家・法政大学教授
著書『「なんとかする」子どもの貧困』(角川新書、
2017年9月刊) 他



寮 美千子

作家・詩人
著書「空が青いから白をえらんだのですー奈良
少年刑務所詩集ー」他



コーディネーター

長谷部 美佳

東京外国語大学世界言語
社会教育センター特任講師

定 員：200名/先着順自由席
参加費：無料
保育あり：500円/1人
(申し込み先着5名)

お申込み・お問合せ (詳細は裏面をご覧ください)

TEL 042-319-9703 / FAX 042-319-9714

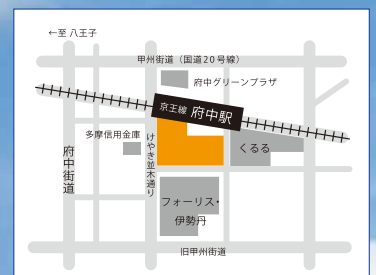
MAIL moshikomi@fuchu-platz.jp <http://www.fuchu-platz.jp/>

〒183-0023 東京都府中市宮町一丁目100番地 ル・シーニュ5、6階
(京王線「府中駅」南口徒歩1分)

主 催 府中市市民活動センタープラッツ



申込専用フォーム



貧困や犯罪など、苦しい状況に置かれた少年たちが新しいスタートを切るために、また、そのような状況に追い込まれないように、市民ひとりひとりにできることは何か。

社会活動家として貧困問題に深く関わって来られた湯浅さん、奈良少年刑務所で絵本や詩を使ったワークショップ「社会性涵養教育」(更生プログラム)の成果を上げてきた寮さん、お二人のお話から探っていきます。

登壇者プロフィール

湯浅 誠

社会活動家・法政大学教授。
1969年東京都生まれ。東京大学法学部卒。1995年よりホームレス支援、生活困窮者支援に携わる。2009年から足掛け3年間内閣府参与に就任。内閣官房社会的包摂推進室長、震災ボランティア連携室長など。政策決定の現場に携わったことで、官民協働とともに、日本社会を前に進めるために民主主義の成熟が重要と痛感する。
民主主義を再考し、誰もが尊重される世の中をつくりたい。

著書に『ヒーローを待っていても世界は変わらない』(朝日文庫)、第8回大佛次郎論壇賞、第14回平和・協同ジャーナリスト基金賞を受賞した『反貧困』(岩波新書)、『貧困についてとことん考えてみた』(茂木健一郎と共著、NHK出版)など多数。

長谷部 美佳

コーディネーター

東京外国語大学世界言語社会教育センター特任講師。東京都立大学社会科学部研究科社会学専攻博士課程修了。社会学博士。専門は移民とジェンダー、多文化社会論。研究の一環で神奈川県外国人支援団体のボランティア/運営に携わる。現在、府中市市民協働推進会議委員。編著に『多文化社会読本：多様な世界、多様な日本』(東京外国語大学出版会)、『変容する国際移住のリアリティ：編入モードの社会学』(ハーベスト社)など。

寮 美千子

作家・詩人。
1955年、東京生まれ。1986年、毎日童話新人賞を受賞してデビュー。
2005年、泉鏡花文学賞を受賞。2006年、首都圏から奈良に転居。2007年～2016年、奈良少年刑務所で社会性涵養プログラム講師。
幼年童話から絵本・純文学・ノンフィクションまで幅広く執筆。

近刊に、『写真集 美しい刑務所 明治の名煉瓦建築 奈良少年刑務所』(西日本出版社)、『世界はもっと美しくなる 奈良少年刑務所詩集』(ロクリン社)、絵本『平太郎のおばけやしき 稲生物怪録絵巻より』『父は空 母は大地 インディアンからの伝言』(ロクリン社)『絵本古事記 よみがえり イザナギとイザナミ』(国書刊行会)、童話『へいきの平太郎稲生物怪物語』(ロクリン社)など。

連携イベント

詩の世界を体感！

寮美千子「詩のワークショップ」

3.21(Wed・祝)13:30▶16:30

府中市市民活動センタープラッツ第3会議室

定員10名(先着順)

参加無料

FAX申込用紙

042-319-9714 宛に本用紙のみをご送信ください

氏名	ふりがな				
TEL ※当日連絡がつく 連絡先	FAX				
保育をご希望	<input type="checkbox"/> する	<input type="checkbox"/> しない	※対象:1歳～就学前のお子様(1人につき500円・先着5名)		
お子様の氏名	ふりがな	性別	男・女	年齢	オ